

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2026

9

No.357



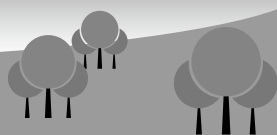
津別町有機酪農研究会視察研修

日時：8月7日(金)
場所：音更町 北の牧場舎





JA情報館



令和8年産 小麦収穫受入終了！

秋まき小麦は7月17日から7月29日、春まき小麦は8月2日から8月5日をもって小麦収穫作業の受入れが無事終了しました。

小麦収穫期間中は、10台のコンバインで稼働し、9台の庸車が小麦圃場から活汲の麦乾工場まで小麦を運搬しました。

天候は順調に推移し生育状況は良く、連日の天候にも恵まれ昨年と同様の早さで作業が進み、受入作業を終了致しました。

麦乾工場で受け入れた小麦は、9月下旬頃まで調整作業が行われ、随時、小麦の農産物検査を受検していきます。

品 種	面 積	乾麦推定重量	乾麦反収	前年度乾麦反収
きたほなみ	416.11ha	3,097,057kg	12.41 俵	9.44 俵
ゆめちから	261.30ha	1,941,314kg	12.39 俵	9.49 俵
春 よ 恋	37.36ha	168,005kg	7.50 俵	6.93 俵

玉葱振興会 令和7年産玉葱精算総会を開催！

8月7日JA会議室にて津別町玉葱振興会（細川直祐会長）は、会員21名と各関係者7名が参加し、令和7年産玉葱精算総会を開催しました。

「玉葱共励会」は、反収部門・歩留部門・L大率部門にて、総合順位を決定し、第1位 鹿中一彦様・第2位 細川直祐様・第3位 (有)おんねファーム様を表彰致しました。

総会議案については、嶋田治仁氏を議長に選出し審議した結果、全て承認されました。

総会終了後、岐阜中央青果(株)名畑青果課長様及びホクレン青果課山口課長様より ①令和7年産品質の状況について ②各玉葱産地の情勢について ③令和8年産の販売環境について講演を頂きました。

北海道産の不作による小玉傾向により出荷量は、平年を下回る状況が続き、流通量が少ないことから高値での販売となりました。

又、令和8年産の販売に向けては、府県産作付面積の減少から北海道産の需要が高まっており、近年は異常気象による減収等が見られることから、北海道産の豊作基調による周年出荷の需要高まりがある講和を頂きました。



▲ホクレン北見支所 山口青果課長様



▲岐阜中央青果(株)名畑青果課長様

小麦種子ブレンダー消毒作業を実施！ 適期播種は、「9月23日前後」以降遅らせて播種して下さい！

9月中旬からは令和9年産秋まき小麦の播種が始まります。今年は大豆の生育が平年より早まっている為、大豆間作小麦を栽培する農家のためにも急ピッチで作業を行っています。

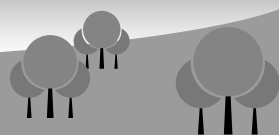
生産資材課では、秋まき小麦種子きたほなみのブレンダー消毒作業を日通作業員と共に、8月20日から28日まで行われました。ブレンダー作業は、延べ6日間ほどで終了し、9月14日～15日頃各農家へゆめちからと合わせて配送されます。

尚、極端な早播きは避け、高品質を確保するために播種適期は、9月23日前後以降に遅らせて播種しましょう！





JA情報館



令和8年度 津別町農業労働力支援協議会 「定期総会」 及び 「事例報告会」 を開催！

8月6日JA会議室にて、津別町農業労働力支援協議会（安部 仁会長）は、令和8年度定期総会を開催しました。令和7年度事業報告として、アルバイトの秋募集は、令和7年度は採用が39件ありましたが、令和8年度は37件でした。東都生協から3名、北見工大留学生4名、その他30名採用しています。

1月に生産者へ令和8年度春・秋労働力需要調査を行っており、JAコントラを含めて受益生産者 春・秋 15件の申込みがありました。

又、3月には、7法人の出席のもと雇用体制強化事業報告会を開催しました。

令和8年度年度事業計画については、他産地（JAおきなわ）、他産業（建設業等）、取引先企業（CSR）、外国人材の活用検討（JA雇用）、農福連携により、相手先との具体的な協議、専門業者への登録、新規就農フェア等により人材確保を目指す旨の方針が承認されました。

事例報告会では、①JA北海道中央会北見支所 芳野氏より、管内における担い手・労働力確保対策の課題と支援策について ②日甜糖 木山取締役専務執行役員より、ニッテンの人材確保対策（農福連携含む）について 事例報告を頂きました。



外郭組織代表者との意見交換会を開催！

8月18日JA会議室にて、16外郭組織のうち代表者12名・JA6名の合計18名の参加にて意見交換会を開催しました。

安部組合長の挨拶の後、中西参事より事前に調査したアンケート結果に基づき、現状と課題について説明されました。特に労働力不足・経営力の低下・農産物価格・コスト高等の意見が浮き彫りとなりました。

意見交換会では、第10次津別町農業振興（中期経営）計画への意見を求め、①農業所得の拡大と持続可能な農業生産の維持 ②担い手の確保・育成と次世代農業者対応 ③スマート農業・デジタル化推進について進められ、「選果場の労働環境整備」「麦コンバインの更新」「大豆コンバインの農協への移管」「飼料用大豆の栽培」「職員体制・待遇改善」「定置タッパー・玉葱コントラ事業」等の意見が集約されました。

新しいJA役員体制への期待として農業情勢が厳しい中、農産物の販売強化・肥料高騰対策・JA収益確保等の必要性が強く求められ、「鉄コンと価格転嫁」「酪農コントラ事業」「鳥獣害対策」「馬鈴薯ハーベスター更新」の意見が出されました。

農家及びJAの経営の収益確保に向けた取組を構築し進める意義を再確認した意見交換会となりました。



JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です！
是非ご覧下さい！Facebook、Instagram

Facebook QR Instagram QR



令和9年産 秋まき小麦播種前講習会を開催！

8月27日JA和室にて28名出席のもと、令和9年産秋まき小麦の播種前講習会を開催しました。農産課より、令和8年度小麦作況結果の説明の後、網走農業改良普及センター美幌支所 中坂専門普及員より講習内容として、津別町小麦の収量増加に向けて「令和8年産の秋まき小麦を振り返り今後活かす」内容の説明頂きました。

令和9年産の小麦播種に向けて、安定確収のため、越冬前の葉数・茎数確保のポイントとして、適期適量は種・は種精度の確保・越冬耐性の確保（主茎葉齢5.5葉前後）の重要性の説明を受けました。

又、小麦の分けつ出現時期が収量に及ぼす影響や品種間の格差により、越冬前の茎数確保の重要性と効果的な秋まき小麦の赤さび防除による温暖化で高温で多発する赤さび病及びコムギ縞萎縮病対策・雪腐病対策の問題点の説明を受けました。

北海道技術事務所 池口氏より ①縞萎縮抵抗品種「きたほなみR」について ②コムギ縞萎縮病・コムギ萎縮病の基本対策について説明を受け有意義な講習会となりました。



令和8年度 津別中学校出前授業を開講！ 「農業体験の事前学習講座」

8月28日津別中学校では、中学2年生の総合学習として「農業体験」が取り組まれており、2日間の農業体験を行う予定となっています。

その前段として、津別中学校にて、生徒32名の出席のもと 津別町農協営農課 林主事補が講師を務め事前学習としての講座を行いました。

講座は、中学2年生の総合的な学習の時間において「地域から学ぼう～津別の農業の現状を知る～」をテーマに学習することを目的に「北海道・津別の農業の実態と課題を学ぶ」と題して進められました。

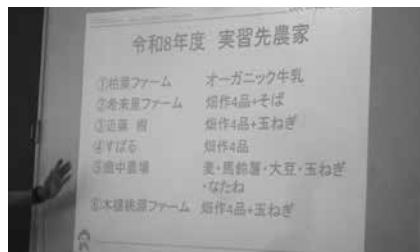
※講座内容

- ①津別町・北海道農業の特徴 ②JAつべつ・JAグループ北海道の役割
- ③「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」

この講座には、農家組合員の生徒さんも9名おられ、生徒の皆さんから多くの質問事項がありました。

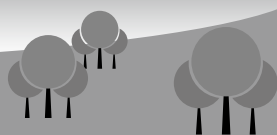
◇作業時や作物に対する暑さ対策は？ ◇津別町の地産地消はどれくらい進んでいるのか？ ◇農業機械で一番高価な物は？ ◇農家さんが仕事で一番大変なことは？ ◇停電の時農業に影響はあるのか？ ◇農産物は主にどんなところに出荷しているのか？ ◇動物の対策はどの様にしているのか？ 生徒の皆さんから受けた質問に対し、林主事補からお答えし興味深く聞いているのが印象的でした。

今後は、実習農家先として ①柏葉ファーム様（オーガニック牛乳） ②希来里ファーム様（畑作4品+そば） ③近藤 樹様（畑作4品+玉ねぎ） ④すばる様（畑作4品） ⑤鹿中農場様（麦・馬鈴薯・大豆・玉ねぎ・なたね） ⑥木樋桃源ファーム様（畑作4品+玉ねぎ）にて、仕事のやりがいや厳しさを体感し、津別町の基幹産業である農業を通じて、ふるさとと津別町の未来を考える機会として、8月と9月に2回の農業体験を予定しています。





JA情報館



第10次津別町農業振興計画(2024年度～2028年度) 津別町農業振興計画策定委員会 第2回 重点施策Ⅱ班会議を開催する！

第10次津別町農業振興計画については、北海道大学（JAつべつ顧問アドバイザー）東山 寛教授の監修により、若手・中堅の農業者を含めて多数の関係者が熱心な議論を積み重ねて、2024年度から5ヶ年計画でスタート致しました。

農業振興計画の策定にあつては、組合員の各組織の代表者・町や農業改良普及センター・JA職員による策定委員会において第9次農業振興計画の成果と反省を軸に議論を重ね策定しました。

目標達成年度は、5年後の2028年度（2024年～2028年）を目標に今年3年目を迎えましたが、組合員・関係機関等との連携を図り取組んでいます。

策定委員会での議論を経て推進委員会において審議した第10次農業振興計画により、次の5年間で私たちが目指す目標達成に向けて推進委員会による総括会議を開催し取り進めています。

5月25日に津別町農業振興計画推進委員会が、重点施策ⅠⅡⅢ毎の担当者により各担当部門合わせて25出席のもと第1回重点施策Ⅱ班会議を開催したところですが、目標達成年度まで3年目を迎える事からこの会議意見を踏まえて、各座長は今後の方向性や各部門毎の会議の開催の在り方について協議し進めることを確認しました。

8月24日・25日・27日に各担当部門（重点施策Ⅰ座長：仲田幸司氏・重点施策Ⅱ座長：池田健太氏・重点施策Ⅲ座長：鈴木健二氏）による第2回目の振興計画策定委員会を各担当部門合わせて23名の出席のもと開催しました。

Ⅰ班会議では、農業所得の観点から大麦・そば・なたね等の作付について、次年度に向けて意向調査の実施が検討された。又、営農技術の向上を目指し、土壌診断結果に基づき、農家個別に施肥相談会の実施に向けて開催することを確認しました。10月下旬に会議を開催し、今後の具体的な取組みを再検討する事としました。



Ⅱ班会議では、農業士との関わり・新規担い手（第三者継承含む）テイクアクションが北大と連携した12月15日予定の活動報告会後にフィードバックし具体的に協議し進めることとし、青年・女性農業者活動支援にあつては、10月を目途にフレミズ・女性部・青年部より代表者の出席により、活動内容の話し合いをする事としました。

Ⅲ班会議では、栽培履歴の提出の徹底と趣旨の再確認し、当初の意義等を情報作成し、クミカン配送・コネクトにて配布を検討しました。法人経営の分野では、小売店と協力し産地地消のPR活動を進める事で確認しました。



令和8年度 道東4ブロックJA地区 青協役員視察研修会による講演会を開催！

8月27日JAつべつ会議室において、JA青年部事業の組織活動強化のため相互研修を実施し、情報交換並びに親睦を図り、今後の青年部事業運営の発展のため、道東4ブロック（十勝・釧路・根室・オホーツク）と道青協の総勢40名の参加により青協役員研修会を開催されました。

安部組合長の歓迎の挨拶の後、JAつべつ 営農課MR・MG 有岡敏也氏の講師により、「寒冷地・中山間地スマート農業モデル推進と北見工業大学との繋がりについて」講演会を行いました。

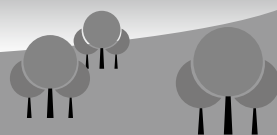
質疑応答では、新規事業の原動力と相互理解を深めることに対して、「旅ワークによる取り組みで人口増加を見込めるのか」「テラドスを選定した決め手は何か」「でてこいランドの設立経過は」といった質問が出され、有意義なうちに講演会を終えました。

講演会終了後、JAきたみらい玉ねぎ選果場を視察し、ホテル黒部にて意見交換会を実施し親睦を深めました。





JA情報館



津別町有機酪農研究会で視察研修を実施！ 白老町：(株)グランファーム 音更町：(株)北の牧場舎

津別町有機酪農研究会（石川賢一会長）は、研究会3名・普及センター1名・JA2名・明治1名・明治飼料2名の合計9名の参加により、視察研修を実施しました。

1日目は、鶏糞の購入先である白老町の(株)グランファームを視察し、飼育頭数は、2年サイクルで35万羽を飼育し札幌圏を中心に「ホクレンのたまご」として各スーパー等へ出荷販売を展開しています。有機酪農研究会では、年間20台程度の鶏糞を利用しており、鶏の飼育頭数の増加により安定的な鶏糞の供給が可能となっています。輸送面での苦労が多かったため、白老から津別までの「中間貯蔵施設」の設置・検討を要請しました。



2日目は、廃用牛の出荷先である音更町の(株)北の牧場舎を視察し、出荷された牛の飼養状態は良好であることを確認しました。飼育方法では、飼料として有機デントコーン・有機ライ麦を使用し、今後の方向性として有機牛の飼育頭数の増頭を検討していました。

視察研修を通して、オーガニック牛乳の生産に向けて、思いを強くする有意義な視察研修となりました。



令和8年産 加工馬鈴しょコントラ収穫全体会議を開催！

8月6日JA会議室にて、生産者12名、カルビーポテト2名、(有)だいち1名、JA3名、合計18名の出席により、令和7年産加工馬鈴しょコントラ収穫全体会議を開催しました。

JAより、令和8年度の馬鈴薯コントラ播種実績について、播種面積 67.99ha（前年60.74ha）が、4月27日～5月19日で終了したことの報告がありました。

協議事項として、①令和8年度馬鈴薯コントラ収穫予定面積 107.7ha（前年95.84ha）②令和8年度馬鈴薯コントラ収穫体制（緊急連絡網・馬鈴薯収穫業務担当表・馬鈴薯コントラ事業実施要領）の確認をしました。最後にカルビーポテト(株) 嵐谷支所長より、加工馬鈴薯の作況状況等の報告を頂き、会議を終了しました。



「家畜の碑」を前に「慰霊祭」しめやかに執り行う！

今年も猛暑が続いていましたが、8月28日は、気温20度と気温も和らいだ小雨混じり中で、JA活波事務所倉庫群の一角に設けられた家畜の碑の前に、JA役職員・酪農振興会・肉牛振興会関係者16名が集まり、福王寺住職によりお経があげられる中「家畜の碑慰霊祭」がしめやかに執り行われました。



小さな準備が明日の大きな安心に。



あなたと家族を守る、**熱中症対策セット**



セット内容

1. 塩レモンゼリー 15g×60本
2. 瞬間冷却パック
3. 熱さまシートボディ用
4. 冷感タオル
5. 冷却スプレー
6. 保存水 2本
7. 補水対策パウダー 2個

セット価格

税込 **9,900円**

これだけそろえば
安心だね！



営農課からのお知らせ

9月中旬から10月中旬までの営農技術について

畑作物

【秋まき小麦】

コムギ縞萎縮病の発生が拡大しています。特に発生圃場での連作は避けて下さい。

播種作業は碎土・整地を丁寧に行い、播種深度が一定になるようにローラを掛けてから播種するなどの工夫をして下さい。

播種深度3cm厳守

深播になると発芽後深さ3cmの所で再度根を出すため大きくエネルギーを奪われてしまい生育が遅れ、遅まきと同じことになります。

本年も縞萎縮病の発生が見られました。直接的な防除対策がないため、既発生圃場に秋まき小麦を作付けしなければならない場合は、極端な早播きは避け、播種適期（9月23日前後）以降遅らせて播種を行って下さい。春の黄化症状をいくらか軽減できます。激発圃場ではフロンサイドの播種前土壌散布で軽減する技術もあります。

大豆間作栽培については、発芽後越冬するための力は蓄えていますが、越冬後、すぐに吸収できる窒素が土壌にあるかどうか、その後の生育に大きく影響します。

できる限り越冬前に基肥3要素を含む肥料を施用することが重要です。

※令和8年産小麦の生育について

令和8年産の秋まき小麦は、播種時期は平年並みでした。越冬前の生育は平年並みで、越冬期間の気温もほぼ平年並みとなりましたが、3月に入ってから平年を上回る気温となり融雪は早まりました。4月中旬からの気温は平年並となったものの、小麦の生育は進み、出穂が5日程度早まりました。その後の気温は平年並で推移したことから登熟もゆっくり進み、子実の充実が図られ、7月中旬にはやや高温傾向となりましたが、降雨にも恵まれ、成熟期で2日早い程度に落ち着きました。収穫は7月17日に始まり29日に終了しました。

本年は融雪が早まったこととその後の気象経過が平年並みに推移したことで小麦の収穫量、品質に良く影響したものと思われます。

そんな中でも、縞萎縮病の影響を受けた圃場や、葉枯性の病害（葉枯病、ふ枯病、さび病、うどんこ病等）の発生が見られたため、実の充実が図れなかった圃場、遅れ穂の発生により品質が低下した圃場なども見受けられます。

今後は、止葉期からの葉枯症等の防除対策や、施肥のバランスについても検討しておきましょう。



【豆 類】

大豆のコンバイン収穫

(1) 収穫前の準備

これからの季節は、日を追って降雨などにより作業条件が不安定になります。本年の大豆の生育は平年より早まっています。大豆のコンバイン収穫にあたっては、収穫適期を逃さないよう準備を進めて下さい。汚粒の原因となる雑草やわい化病株は、収穫前に完全に抜き取る必要があります。

(2) コンバイン収穫の適期

大豆のコンバイン収穫適期は、子実水分20%以下、茎水分40%以下になった時です。汚粒発生を防止するため、晴天の日中（午前11時頃から午後4時頃まで）に収穫するようにして下さい。作業速度は0.8m/sを目安とし、試し刈りにより汚粒の発生程度を確認します。茎水分は、気象条件や土壌条件により40%以下に達しない場合がありますが、茎表面に「ぬめり」がなく、かつ子実水分20%以下の時、汎用コンバインは茎水分55%以下であれば汚粒も少なく収穫できます。水分が高い時は、刈り高を12cm程度で高刈りする必要があります。

小豆・菜豆の脱穀調整

(1) 小豆は年によって葉が先に落ちる場合と、莢が先に熟し葉落ちが悪い年があります。それぞれ収穫のタイミングが難しいですが、脱穀時の子実水分は、小豆で熟莢率100%で16～18%、金時で熟莢率100%で18～26%、手亡で18～20%として下さい。

(2) 脱穀機の回転数は豆類の種類や粒の大きさによって調整し、割れなどの損傷を防ぐようにして下さい。



夏まきそば

小麦収穫後にそばを播いて栽培している方は、春まきそばと違い、温度が高い時期に生育するためそばの生育が旺盛となります。発芽が早だけでなく、草丈が低いうちに開花し始めます。そばは草丈と収量に関連はあまり無く、開花する時期の温度が影響してきます。気温が下がり始める時期の開花となりますので結実率も向上します。

但しこの時期ヨトウムシ類の発生も高まりますので圃場観察を行い、早期に防除を行って下さい。



9月中下旬、葉も花もヨトウムシに食い尽くされた圃場

ヨトウムシ防除例

薬剤名	散布倍率	使用回数	使用時期
フェニックス顆粒水和剤	2000～6000倍	2回	7日前まで
プレオフロアブル	1000～2000倍	2回	前日まで

年金友の会情報

第4回 パークゴルフ大会

開催日：令和8年8月13日（木）

開催場所：豊永 さくら・えぞ松コース

男性の部

優勝：古澤 秀明 (103) 5 位：土屋 昇 (107)
準優勝：鹿中 順一 (105) 6 位：池田 康博 (107)
3 位：幅口 功 (106) 7 位：長尾 隆行 (108)
4 位：細川 順弘 (106)

女性の部

優勝：佐藤さより (114) 5 位：石川 峯子 (120)
準優勝：藤原 清恵 (116) 6 位：萬 サト (121)
3 位：赤池 奎子 (117) 7 位：斉藤 清子 (122)
4 位：佐野 信子 (117)

●ホールインワン賞（2名）

細川 順弘 佐藤さより



第七回理事会報告

開催日 令和8年8月28日

報告事項

- ① 令和8年8月末財務状況について
- ② 組合員の異動状況について
- ③ 連合会の配当と事業割戻しについて
- ④ 令和7年産共計玉葱の本精算について
- ⑤ 令和7年産食用馬鈴薯の本精算について
- ⑥ 令和8年度基本調査結果について
- ⑦ 特定組合員の経営状況について
- ⑧ 経済委常任委員会の開催について
- ⑨ 融資実行状況について
- ⑩ 外郭団体長との意見交換会について
- ⑪ J A 共済コンプライアンス点検結果について
- ⑫ コンプライアンスプログラムの実践状況について
- ⑬ 令和8年度上期内部監査（審査）の実施状況について
- ⑭ 貸出条件緩和債権にかかる基準金利の設定について
- ⑮ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑯ 各課報告事項について

付議事項

- 議案第1号 共同計算に係る重要事項について
- 議案第2号 令和8年産澱原馬鈴薯概算払い単価設定について
- 議案第3号 対策組合員への貸出について
- 議案第4号 農地保有合理化事業に伴う確約書の提出について

協議事項

- ① 津別町との意見交換会について
- ② かん水事業に対する意向調査の集約について



2027年 家の光 家計簿 日記付き

(「家の光」12月号に別冊付録としては付きません)

大正14年6月27日第三種郵便物承認 令和8年12月1日発行 (毎月1回1日発行) 家の光第102巻第101号増刊



家の光

IE no HIKARI

●定価(税込) **660円** (11月1日発売)

お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9040 <https://www.ienohikari.net/>

9月下旬・10月上旬の主な行事

9月 15日 火	総務常任委員会 3	10月 1日 木	辞令交付 経営会議
16日 水		2日 金	
17日 木	年金友の会パークゴルフ大会	3日 土	第一閉庁日
18日 金	企画会議	4日 日	
19日 土	指定休日	5日 月	
20日 日		6日 火	津別町との意見交換会
21日 月	敬老の日	7日 水	信連監査（～9日）
22日 火	国民の休日	8日 木	年金友の会パークゴルフ大会
23日 水	秋分の日	9日 金	
24日 木	監事監査（～25日）	10日 土	
25日 金		11日 日	
26日 土		12日 月	スポーツの日
27日 日		13日 火	
28日 月		14日 水	
29日 火	理事会 中央会監査（～10/2）	15日 木	
30日 水		16日 金	

上里 佐野繁子さんのデザイン花壇の紹介!

花壇づくり47年目!! 花づくり50年を記念して!!

上里の佐野繁子さん（97歳）のデザイン花壇を紹介します。昭和54年から花壇づくりをされていて、今年で47年目を迎えました。

去年は、佐野家 待望の男の子 ひ孫『るい』君の誕生と成長を祈願して、「デザイン花壇」を紹介させて頂きました。

今年は、お聞きしますと花づくりを始めて「50年」を迎えられたことから、花づくり50年を記念して花壇づくりをされました。

今年も素敵な花壇を拝見させて頂きました。明年以降もお元気で花壇づくりを続けられますこと心からご期待申し上げます。



▲佐野 繁子さん



▲昨年の作品

発行 津別町農業協同組合 〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通30番地1
TEL0152-76-3322 FAX0152-76-3594 金融共済課直通電話 0152-77-3170
印刷 有限会社 サンケイプリント社

JAつべつ | 検索

<http://www.jatsubetsu.or.jp>